

## No. 1 (北海道・登別市) 奇跡の湿原を次世代へ～キウシト湿原の保全と活用～



**<活動内容>**  
住宅地の中にありながら奇跡的に開発されずに残り、貴重な動植物が多数生息する**キウシト湿原を守り、子どもたちに残したい**という思いから活動を始め、現在会員は44名。湿原の保全・再生に当たり、**市、市民、専門家の協働**で取り組み**生態系が回復**。ミズバショウ鑑賞会などの各種イベント、小学校の総合学習、「笹舟づくり」などの工作体験など**市民の憩いの場、次世代を担う子どもたちの学習の場として定着**するとともに、市外からの来園者も増加しており、**新たな観光スポットとして地域に波及効果**をもたらしている。

**<地域活動団体>**  
NPO法人 キウシト湿原・登別

## No. 2 (岩手県・陸前高田市) 桜ライン311 ～未来へのまちづくり～



**<活動内容>**  
陸前高田市は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により壊滅的な被害を受けた。その記憶を風化させないため、同年10月に「NPO法人桜ライン311」を発足。発足以降、春と秋の年2回、市内の**約170kmに渡る津波到達ラインに桜を植樹する活動**を行い、これまで**212箇所1,020本を植樹**した。また小中学校を中心に、後世の人々に津波の恐れがあるときには桜並木より上に避難するよう**伝承活動**をしている。活動を通じて地域の避難行動の重要性や防災意識の向上に貢献している。

**<地域活動団体>**  
認定NPO法人 桜ライン311

## No. 3 (山形県・新庄市) 新庄市エコロジーガーデン ～先人が築いた歴史を次の世代へ～



**<活動内容>**  
地域全体として、若者の人口流出や地域活力低下などの課題があり、平成24年に「新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会」を設立。同年5月から月に1度**手づくり市「キトキトマルシェ」を開催し、30店舗以上の店が軒を連ね、昨年度は1万人を超える来場者数でにぎわう人気の催し**となった。効果として、地域の農業振興、地域振興に寄与し、ボランティアの若者の地域に対する意識の変化(地元の良さの再発見)やコミュニティ形成、交流人口の拡大に繋がっている。

**<地域活動団体>**  
新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会

## No. 4 (茨城県・鹿嶋市) 「鹿嶋神の道」づくり



**<活動内容>**  
当団体は、商店街の活性化や、誰もが住みたいと思う魅力あるまちを目指すため、平成24年2月に設立した**会員数約50名の団体**である。市民を対象とした**毎月約50名が参加する「鹿嶋再発見まち歩きツアー」の開催**や、市外から観光客を呼び込むためのウォーキングコース「**鹿嶋神の道**」の**開発**、「**鹿嶋神の道**」の**ブランド化を図るために**、純米原酒「**鹿嶋神の道**」などの**特産品開発**も行っている。「**鹿嶋神の道**」の整備やガイド案内は**市民ボランティアと協力して実施**しており、オープンから2年半で市内外から約8,000人が訪れている。その結果、**商店街の空き店舗の解消(5店舗)や、市民が地域の魅力を再認識し、郷土愛を深めるなど、地域が活性化**している。

**<地域活動団体>**  
鹿嶋神の道運営委員会

## No. 5 (茨城県・神栖市) 不法投棄されていた土地を地元の手で憩いの場に！夢のひろばづくり



**<活動内容>**  
活動地はもともと市の建設残土置き場であり、不法投棄が絶えなかったため、市が「**夢のひろば須田**」として整備。その後の管理等を行うため、当会が平成20年4月に設立された。**会員数は約30名**。18,000㎡の土地のうち、2,000㎡が**花壇**、その他16,000㎡の部分は樹木が植えられている広場となっており、**草刈や樹木の手入れ等の維持管理を毎日行っている**。維持管理においては、**自宅から持ち寄った挿し木を植栽したり、草刈のためにヤギを飼育**するなどの工夫を行っている。また、**子ども達やPTA、地域の行政区とも協力して維持管理**を行っている。ひろばは、**地域の人の憩いの場として親しまれており、子ども達の校外学習の場や自然観察の場として教育の面でも活用**されている。

**<地域活動団体>**  
花と緑の会

## No. 6 (栃木県・足利市) 足利の魅力再発見！～高校生のロケツアーリズム～



**<活動内容>**  
「映像のまち構想」を掲げている足利市では、市内のいたる所で**ロケ**が行われている。当高校のビジネス研究部では、観光客として取り込み切れていなかった若年層への誘客を図るため、「**ロケ地**」という新たなツールを活用し、**観光ガイドマップ(あし恋MAP)作り**を行った。**高校生が自ら企画・取材・作成**を行っており、あし恋MAPを作成するにあたっては、**市内県立高5校約600名にアンケート**もしている。また、マップに基づいた**ロケ地めぐりツアーを開催し、高校生自身が観光ガイドにも挑戦**している。マップを持って**観光客が足利市を訪れたり、メディアに取り上げられるなど、足利市の魅力を市の内外に発信し、地域の活性化に貢献**している。

**<地域活動団体>**  
栃木県立足利清風高等学校

# 平成28年度 手づくり郷土賞 【一般部門】 選定案件概要 (20件)

**No. 7** (栃木県・日光市)  
日本の近代化を支えた足尾の産業遺産等を活用した地域おこし



<活動内容>  
当法人は、足尾地域の歴史・文化普及と継承を図り、地域の振興発展に寄与することを目的に、平成18年9月に設立され、主に足尾の歴史に関する資料館を運営している**会員数200名の団体**である。  
足尾歴史館では、毎月第一週の土日に、昔、足尾の町中を走っていたものを復元した**ガソリンカーの試乗会を開催**しているほか、**わたらせ渓谷鐵道と連携し、気動車や客車の展示等を行う足尾駅祭を過去に4回開催**したり、**足尾駅でイルミネーションを点灯するなどのイベント**を行っている。さらに、平成27年には新たに**国土交通省で砂防事業に使用していたトロッコを譲り受け、イベントに活用**している。駅祭では、町の人口を上回る**3,000人規模の集客**があるなど、**地域の活性化に寄与**している。

<地域活動団体>  
NPO法人 足尾歴史館

**No. 8** (埼玉県・鴻巣市)  
人もコウノトリも棲めるふるさと鴻巣づくり  
~つたえよう豊かな自然環境を未来の子どもたちへ!~



<活動内容>  
当法人は市民の有志が、「市の名前の由来でもあるコウノトリを鴻巣に」との思いで、平成19年に設立し、**現在は165名の会員**で活動している。  
**コウノトリの生息環境を整えるため、湿地ビオトープを整備し、草刈や外来種駆除などの管理**を行っており、また、**地域の農家と協力して「冬みず田んぼ」「夏みず田んぼ」「魚道設置」「無農薬栽培」をモデル水田で行っている**。湿地ビオトープや水田においては、**外来種駆除・生きもの観察会・田植え収穫イベント**などを行うことで**環境学習にも役立て**ており、これまでに**延べ1,300人以上が参加**しており、**地域を盛り上げ**ている。

<地域活動団体>  
NPO法人 鴻巣こうのとりを育む会

**No. 9** (神奈川県・横浜市)  
地域でつくるエキコンの賑わいとキレイなまち鴨居



<活動内容>  
当会は平成11年に設立し、環境部会や文化・イベント部会、福祉部会など**幅広い活動で地域を盛り上げている会員数74名の団体**である。  
平成15年から、**毎週日曜に駅通路の清掃活動を実施**しており、**通算で700回以上行っている**。また、毎年3月には**地元の小中学生が卒業記念として清掃活動に参加**している。清掃活動は、**通行人からの御礼の声や自主的にゴミ拾いを行う人がいるなど、活動に広がりが見られる**。  
清掃を行っている駅通路では、年に3回「鴨居エキコン」(ミニコンサート)を開催しており、これまでに**約40回開催**している。  
清掃やエキコンの開催は、**地元企業や自治会等とも協力**して行っており、**地域が一体となった活動**となっている。

<地域活動団体>  
鴨居駅周辺まちづくり研究会

**No. 10** (新潟県・関川村)  
羽越水害の教訓を伝える「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」



<活動内容>  
1967年に発生し、甚大な被害を及ぼした羽越水害。この水害を後世に伝える「大したもん蛇まつり」を1988年から行っている。  
**ギネスに認定された竹とワラで造った82.8mの大蛇パレード**がまつりの主役。500人もの人々が交代で担ぎ村内を練り歩く。準備段階から**実行委員会を中心に村民と全国からのボランティアが一丸**となって取り組んでいる。また、**全国各地のまつりのパレードにも参加し各地との交流も生まれた**。全国に知られるまつりに成長し、「小さな村でもやればできる」と村民の自信と誇りになっている。

<地域活動団体>  
えちごせきかわ大したもん蛇まつり実行委員会

**No. 11** (三重県・多気町)  
人々の生活とつながりを育む河川~佐奈川を美しくする会の取り組み~



<活動内容>  
佐奈川は、近年の護岸改修に伴い安全性が向上する反面、川と子供達のかかわりが希薄となっている。そのため地域活性化の活動フィールドとして、ある企業が社会貢献としてはじめた清掃活動が周辺の人々の心を動かし、**自治会、企業、行政も活動に参加し、今では清掃活動(延べ4,957人)、生物観察会(延べ256人)、稚魚放流(延べ約4,500匹)、環境学習、植栽等の多岐にわたる活動**をしている。  
また、**絶滅危惧種(アゼオキリ草)の保全を目的とし地元高校、農業団体と連携して、繁殖活動**に取り組んでいる。

<地域活動団体>  
佐奈川を美しくする会

**No. 12** (京都府・南丹市)  
せつぶん草で集落の「誇りと絆」づくり



<活動内容>  
65歳以上が49%の準限界集落のこの地区で、**絶滅危惧種セツブンソウの群生地を発見**。セツブンソウを地域の資源とし、地域の活性化に向けて取組を開始。  
専門家等の指導を仰ぎ**セツブンソウの保全し、「せつぶん草」祭り**と称して公開している。来場者は毎年**600名を超**える。  
集落全体で取り組むことになり活動を通じて希薄だった地域の交流も深まっている。また、この4月に**3家族の1ター**ンがあり、**限界集落(65歳以上が人口の50%以上)から脱**した。

<地域活動団体>  
中世木せつぶん草を守る会

# 平成28年度 手づくり郷土賞 【一般部門】 選定案件概要 (20件)

**No. 13** (大阪府・大阪市)  
 密集市街地の小さな広場を活用した地域防災力向上に向けた挑戦。



<活動内容>

民間用地を無償で提供してもらい、大阪府が社会資本整備総合交付金を活用し広場を整備。密集市街地の課題や地域コミュニティの希薄化の解決に、地域住民主導で広場を活用している。

地域防災力の向上(地域コミュニティ活性化)に向け**清掃活動(月1回)**や**防災避難訓練(年1回)**など、多数のイベントを開催。毎年開催する**「ももに広場誕生祭」**では、生野区発祥のスポーツをアレンジした遊びなどを行うなど、**小学生からお年寄りまで地域住民200名以上が交流するお祭りイベント**となっている。

<地域活動団体>

ももに広場管理運営会

**No. 16** (愛媛県・松山市)  
 We Love 石手川 河川大清掃  
 ～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～



<活動内容>

川から遠ざかっていた市民と水辺空間を密接に結びつけるきっかけとなる活動を目的とした**「We Love 石手川 河川大清掃」**を平成2年から実施している。当初は41名の参加であったが、25年にもわたる継続した活動で、清掃活動後の**ハンバーガー提供による親子の参加を促す工夫**や、河川清掃団体が集まる**意見交換会**での交流等を通じて、現在では、**13団体、最大1600人の参加にまで発展**した。さらに、本清掃活動による市民のごみ意識の向上にも寄与し、松山市は**「9年連続、1人1日あたりのごみ排出量最小を達成」**している。

<地域活動団体>

松山白鷺ライオンズクラブ

**No. 14** (広島県・広島市)  
 身近な自然に気づき、川と始める。川から始まるまちづくり  
 ～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～



<活動内容>

子供たちが自然にふれあうことが少ない街中の河川下流域において、身近な自然に親しみ、環境を良い方向に変えていく行動を起こすことが必要と考え、平成17年に設立。会員は現在20名。

広島駅から近い街中で唯一、水質を浄化することが知られる**貴重なアシ原と干潟**が広がっていることから、**全国的にも珍しいアシ舟づくり**を行ったり、**カヌー乗船体験**や**生物観察**、冬には**干潟でとんど**を開催している。新芽を促進させるアシ刈り行うことで、水質浄化機能を促進させ、**アシ原・公園の清掃**を行うなど**地域資源の保全**や**地域の活性化**に取り組んでいる。

<地域活動団体>

京橋川かいわいあしがるクラブ

**No. 17** (高知県・四万十市)  
 流域住民主体で四万十川の環境保全と地域活性化の活動



<活動内容>

四万十川の自然と環境を守り、地域の活性化を図ることを目的とし、**春の菜の花まつり**をはじめとした各種イベントや、**自然観察会**や**貴重植物の保全活動**、**四万十水辺88箇所**の選定などの観光資源の発掘・PR等様々な活動を行っている。菜の花まつりでは、地元地区民が如何に参加し、役立ちか考え、**地区の物産コーナー**で地元野菜や料理等を販売し、収益になるとともに、**団結が深まる、若い人のやる気がでるとの効果**がでている。まつりは、関係団体が一丸となり取り組み、当初の4千人から**現在では2万人の来場者**となっている。

<地域活動団体>

四万十川自然再生協議会

**No. 15** (徳島県・美馬市)  
 カヤックで目指す四国のまほろば～吉野川河畔ふれあい広場～



<活動内容>

吉野川中流の大自然を活かして、地域住民との交流による地域の活性化を目指し、**小中学校約10校の生徒**を対象に、**カヤックでの自然体験活動**を支援している。

カヤック以外にも、**河川の間伐竹を用いた竹細工、竹灯籠、そうめん流し**などの体験活動や、**高さ10m、間伐竹2万本の日本一のどんと焼き**など様々なイベントを行っている。また、イベント以外にも、国交省と連携した**水上パトロール**や地元漁協と連携して**清掃活動**を行うなど、幅広く活動し、地域活性化に寄与している。

<地域活動団体>

AMEMBO

**No. 18** (福岡県・朝倉市)  
 郷土の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守ろう



<活動内容>

人口減少や高齢化で、**江戸時代(1663年)から利用されてきた「山田堰・堀川用水・水車群」**の存続が危ぶまれ、不法投棄による**環境悪化**が進む中、「堀川の環境を守る会」を平成20年度に発足し、「**堀川クリーンアップ活動**」を開始。現在は**1000名を超える住民参加**により、**不法投棄は大幅に減少**した。また、小学生向けに「**水源林体験学習**」「**歴史学習**」等を開催し、郷土愛の醸成や伝統的取水技術の継承を図ると共に、「**花の植栽**」「**ライトアップ**」等に取り組むを広げ、今では**来訪者が年間20万人**を越える等、観光面でも寄与している。

<地域活動団体>

堀川の環境を守る会

**No. 19** (宮崎県・延岡市)  
ふるさとへの熱い思いが奇跡の堤防を産んだ



第1回の河津桜植樹



延岡花物語

<活動内容>

人口減少等で賑わいを失いかけてた延岡市に、「故郷に恩返しをしたい」との思いから「天下一ひむか桜の会」を発足した。平成21年から五ヶ瀬川堤防に河津桜300本と菜の花を植え、7年間、毎年250日、地道に維持管理を継続し、7,000人の市民等が参加する活動に発展した。今では「延岡花物語」(祭)の主会場となり、35,000人の観光客が訪れる一大イベントになった。また、より多くの市民参加を促す仕組みづくりや新たなプロジェクトにも取り組み、通年で花を楽しめる河川空間づくりを行っている。

<地域活動団体>

天下一ひむか桜の会

**No. 20** (沖縄県・那覇市)  
国場川こいのぼりまつり  
～少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを…そんな街に住みたい!～



手づくりのコイが泳ぐ国場川



月に2回開催される定例会の様子

<活動内容>

国場川はかつて環境汚染が進み、全国ワースト4位という不名誉な場所であった。そんな国場川を地元住民の交流の場、子どもたちのふるさとを作りたいとの思いで発足させた活動。

平成9年から始まり、現在では河川環境保全、近隣学校の総合学習、こいのぼりまつり等を開催し総参加者数は5000人規模のイベントとなっている。また、参加者には受動的ではなく、能動的な思考を意識させることを重視しており、「自らつくるまち」を目標に活動をしている。

<地域活動団体>

国場川に清流を取り戻す会

# 平成28年度 手づくり郷土賞 【大賞部門】 選定案件概要（2件）

## No. 1 助川山市民の森 ドングリの森づくり （茨城県・日立市）



公園内のハイキング案内  
（保育園児）



ドングリの木植樹会

### <活動内容>

助川山市民の森は、平成10年に公園として開設されたのち、当くらぶが管理を開始し、公園を豊かな動植物が棲める多様性のある森にするために活動している。

活動においては、森林保全定例作業、ハイキング案内、ドングリの木植樹会、野草解説板や公園案内板の整備、公園紹介パンフレットの作成のほか、**公園外でも木工教室を市のイベントで行うなど、様々な活動**を行っており、平成27年度は、**活動延べ人員1,700人、イベント等への市民・子どもの参加者1,000人**となっている。ドングリの木は、**累計で7,000本以上も植樹**を行っており、**子ども達に郷土愛を育み、市民や市外の方が多数訪れる、広く親しまれる公園**となっている。

### <地域活動団体>

NPO法人 森の自然学校助川山保全くらぶ

## No. 2 歴史と海峡を活かしたまちづくり～門司港レトロ～ （福岡県・北九州市）



まちあるき「門司港めぐり」



門司海峡フェスタ

### <活動内容>

取り壊しの危機にあった門司港駅等の歴史的建造物の保存運動を契機に、それらを活用した観光振興と地域活性化のため、平成7年に「門司港レトロ倶楽部」を設立した。現在は**34団体が加入**する活動に発展し、**観光地づくりとまちづくりの両輪**で活動を継続している。**三宜楼や旧大連航路上屋等の新たな歴史的建造物の活用**をはじめ、**県境・海峡を越えた関門連携によるまちづくりや「まちあるき」等の年間300件以上の多様なイベント**を企画・推進し、北九州市を「**観光の街**」へとイメージ転換させ、**県内屈指の観光スポット**に定着させた。

### <地域活動団体>

門司港レトロ倶楽部